

基本的な使い方

今回は基本的な使い方の説明をしていきます。

目次

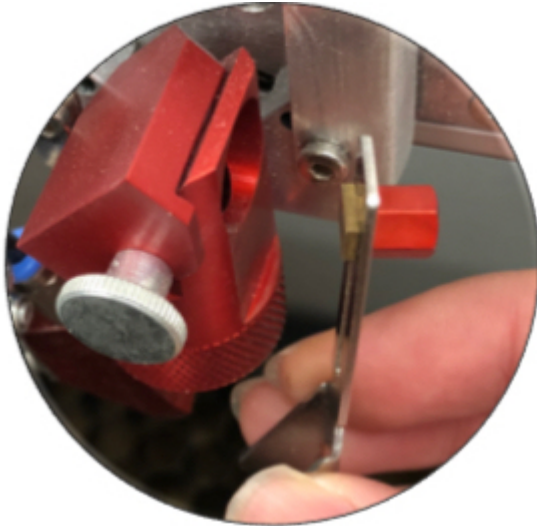
レーザーカッターの使い方



使う際の流れ

レーザーカッター

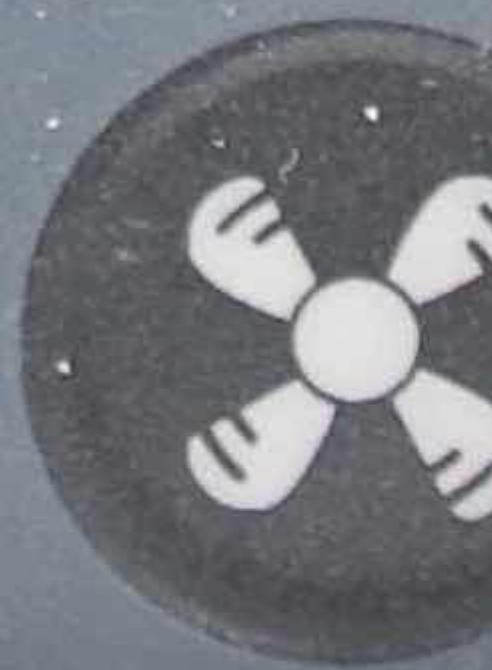
- 電源を入れます
レーザーカッターの後ろにある電源をつけます。
- 初期化を待ちます
1分ほどかかることがあります。
- 材料を置きます
材料を左端の過度に合わせて設置します。
- 高さ合わせをします。



金具の金属部分をレーザー出力部の出っ張りに引っ掛け、上下スイッチで金具が倒れるギリギリまで材料を近づけます。

- 位置合わせをします。
十字キーを使い、切断開始場所に移動します。

覚えておくといいこと



ファン起

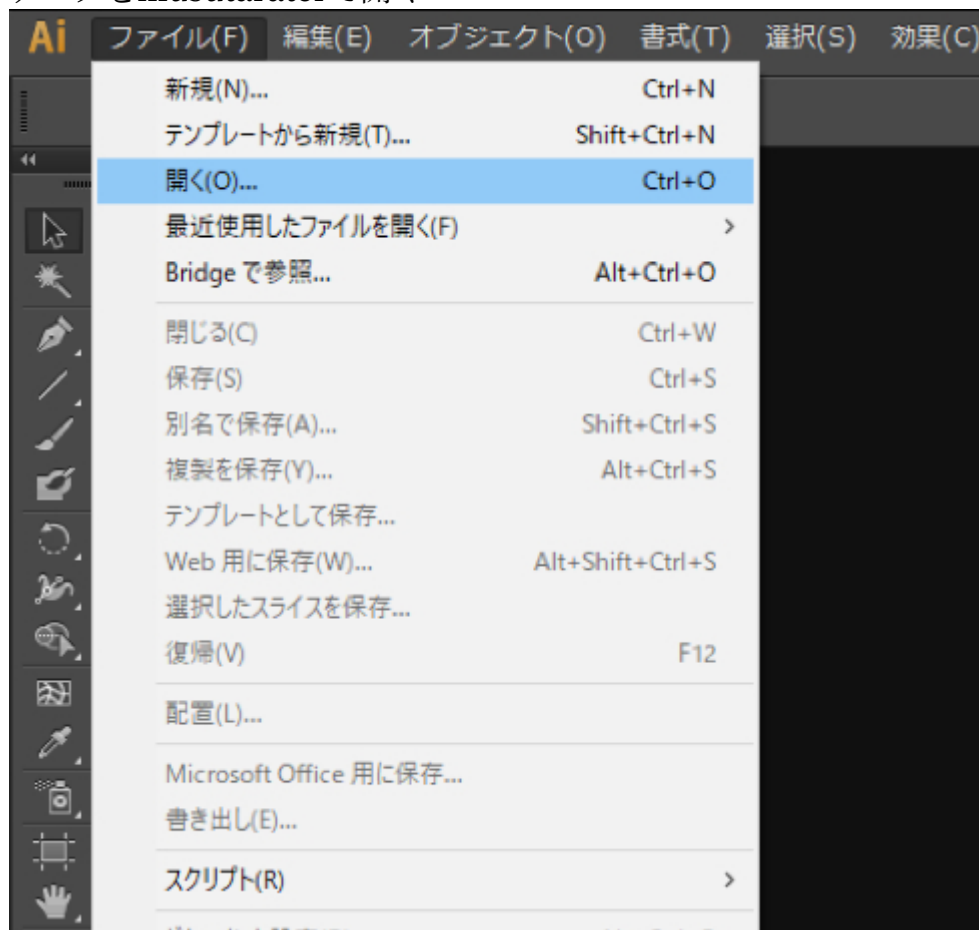
上のボタンには、ファン起動、ファン停止、一時停止が割り当てられています。

パソコンでの操作

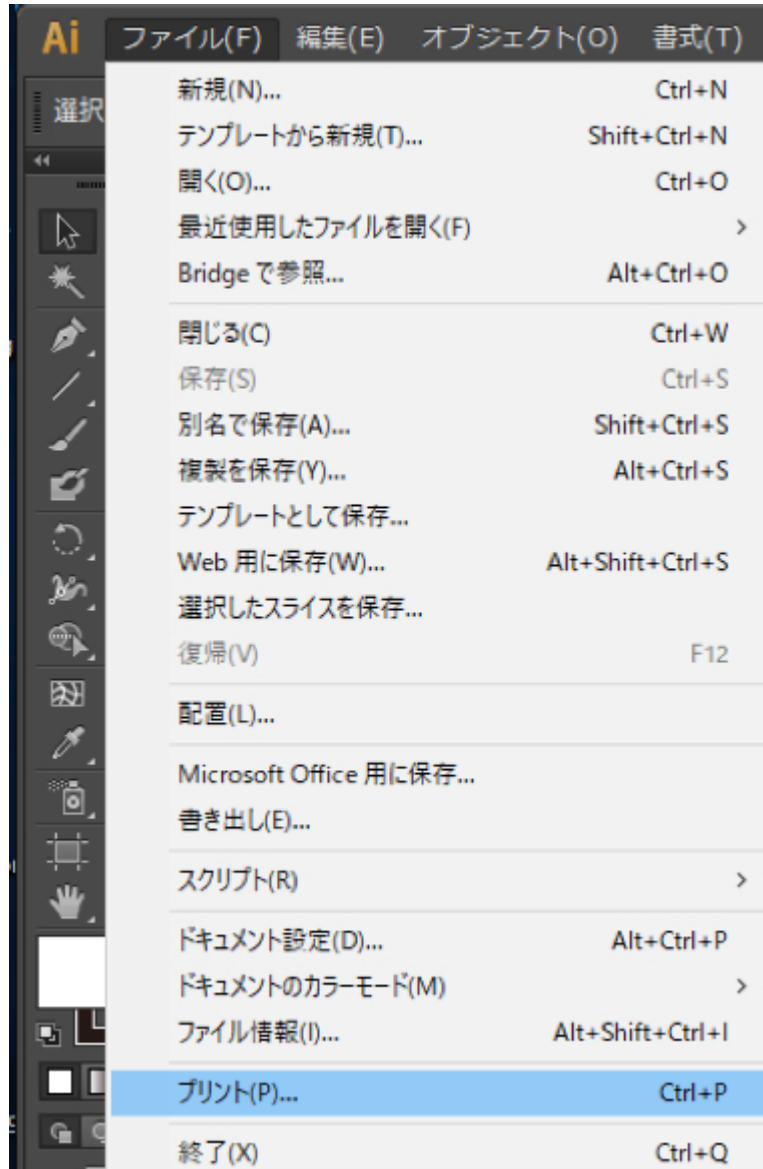
illusutaraterの使い方は別資料です。

使う際の流れ

- データをillusutaraterで開く



- オプションを設定し、印刷



プリントプリセット(S): カスタム

プリンター(P): Trotec Engraver v10.6.1

PPD(D):

一般

トンボと裁ち落とし

出力

グラフィック

カラーマネジメント

詳細

一般

部数(I): 1 ☐ 丁合い(L) ☐ 逆順で印刷(O)

アートボード: * すべて(A)

☐ 範囲(R):

☐ アートボードを無視(B) ☒ 白紙のアートボードをプリントしない(K)

用紙サイズ(Z): プリンタードライバーで定義


幅(W): 300.0163 mm 高さ(H): 600.0327 mm

用紙の方向: ☒ 自動回転(T)

☐ 幅と高さを入れ換え(V)

オプション

プリントするレイヤー(Y): 表示中でプリント可能なレイヤー

配置:  原点 X(X): 0.01 mm 原点 Y(Y): 0.02 mm

拡大・縮小: 拡大・縮小しない ☐ 重なり(O)

指定倍率: 幅(W): 100 ☐ 高さ(H)

☐ タイル範囲(G):

1 / 1

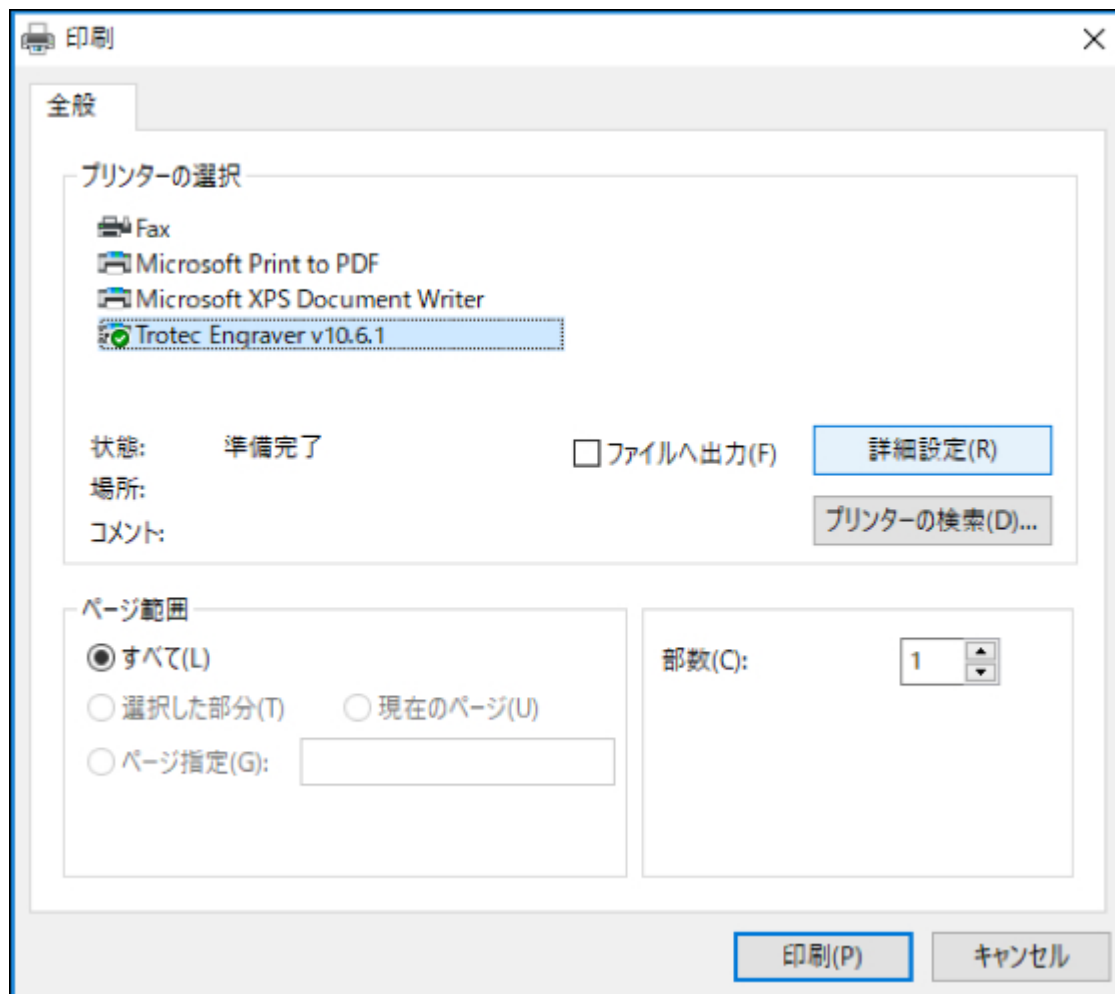
ドキュメント: 600 mm x 300 mm

用紙: 300.02 mm x 600.03 mm

プリンター(U)...

完了(N)

プリント



- JCでレーザーカッターと接続



上記の操作をするとJCというソフトが立ち上がります。
まず、レーザーカッターと、JCを接続しましょう
USBマークのボタンをクリックしてください。

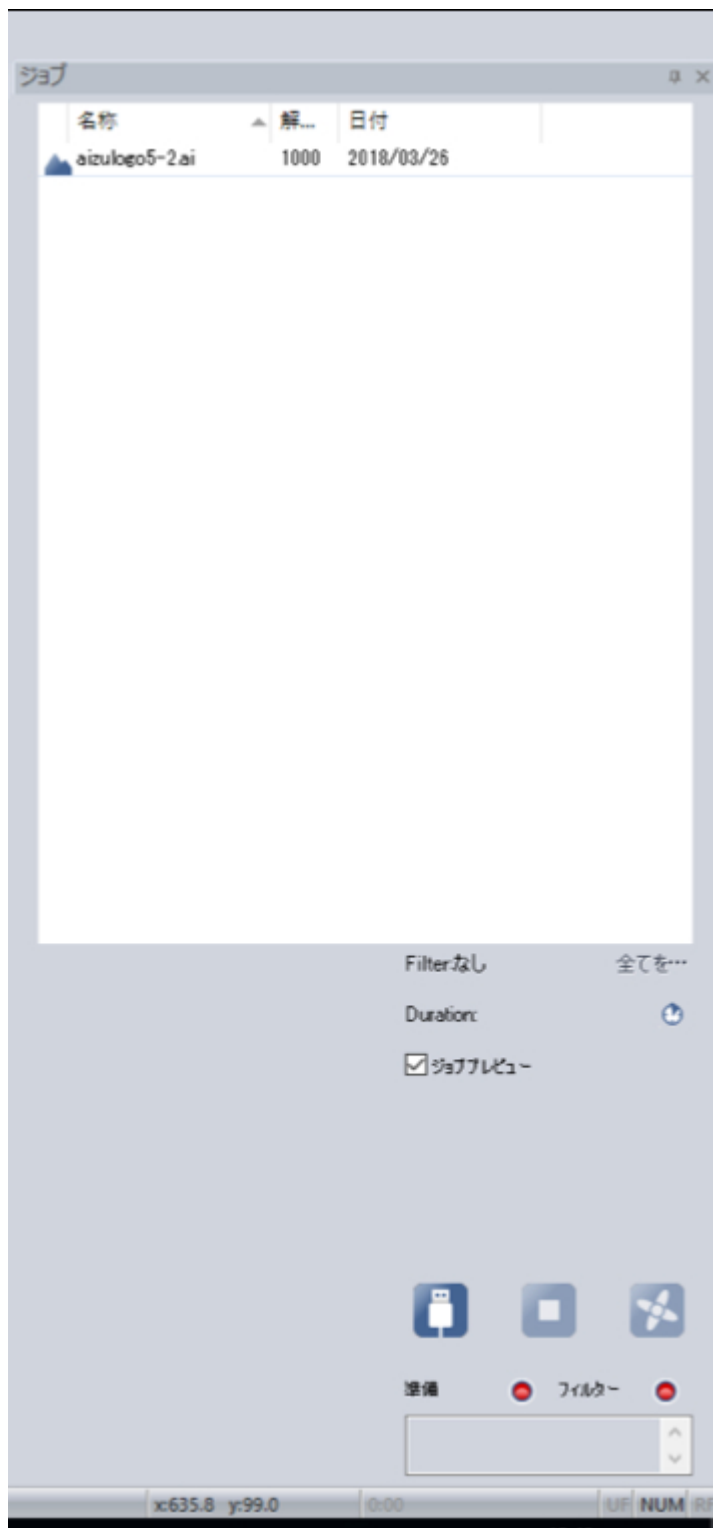


すると接続ができ、十字マークが画面に出ます。
それが、レーザーの位置です。

- データの配置

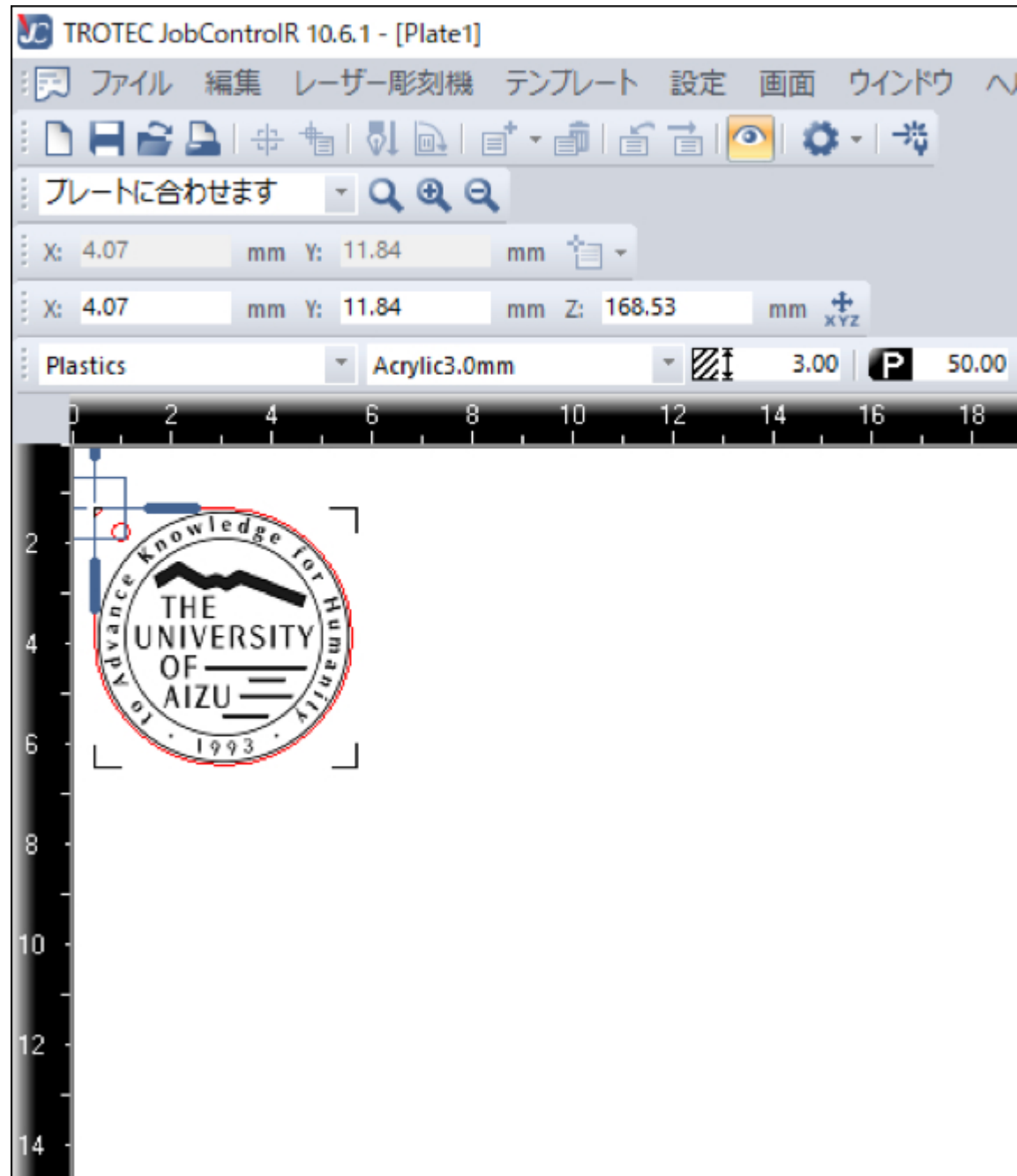
接続ができれば、データの配置をしましょう

右側の欄に、先ほどプリントをしたデータの名前が出ています。



JCの画面は、レーザーカッターの稼働面と同期されているので、それを印刷したい場所にドラッグ&ドロップで起きましょう。現在のレーザーの位置におくのが

良いです。



- スタート

印刷の準備が整いましたら、スタートしましょう



覚えておくといいこと

- 回転

右クリックすると回転を選択できます。

イラストレーターでも回転できますが、ここでもできます。

- 複製

- プレビュー

右上の目のマークを押すと、プレビューができます。

終わりに

詳しい使い方は、Trotecの公式ページに書いてあります。

みると良いでしょう

[公式ページ使い方](#)